

## 来月の新年会 見送りに

師走の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。  
新年会の開催可否についてですが、11月の理事会にて協議しましたところ開催に慎重な意見が多数を占めたことからやむなく開催見送りに決定しました。  
再びの感染拡大の懸念が広がる中で、皆様の健康と安全を考慮しての苦渋の決断となりました。  
はなはだ残念ではありますが、遠からずまた皆様の元気なご様子を拝見するのを楽しみにしています。  
寒さ厳しい季節になってきました。お身体を大切に、よい新年をお迎え下さい。



### ウェブ賀詞交換とアンケートご案内

#### ■賀詞や近況をお寄せください

東京片貝会の皆様宛て、として年賀状スタイルの新年のあいさつや近況メッセージをお寄せください。

#### ■総会アンケートにご協力を

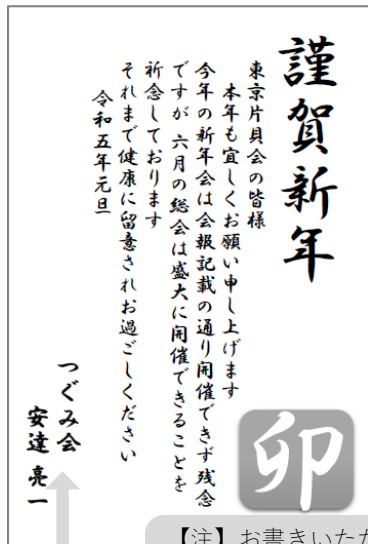
令和5年6月予定の総会についてのアンケートにご協力ください。(回答選択肢は右記のとおり)

賀詞や近況メッセージ、アンケートとも

- ・会報に同封の返信ハガキ
- ・ウェブアンケート

のどちらでもお送りいただけます。

#### 【ハガキでのあいさつ例】



#### 【ウェブではこちらから】

ウェブアンケートからの回答や近況メッセージはこちら▼の



「東京片貝会アンケート」から回答・送信いただけます

【注】お書きいただく個人情報は、本人氏名(ペンネーム可)と所属同級会名だけとし、記載内容を会のホームページやLINEグループ「なじらね片貝」へ掲載することをご了解ください。

#### 会の動き

- 理事会 2022/5/22  
於 新潟県人会館  
安達会長以下13名  
・会報発送
- 総会 2022/6/26  
東京グリーンパレス  
会員33名参加  
片貝まつり 理事有志花火奉納  
2022/9/10  
新潟県人会と郷人会との交流会  
安達会長出席 2022/9/18  
教育講演会 2022/10/14  
理事会 2022/11/14  
於 新潟県人会館  
安達会長以下11名  
・新年会開催可否の討議  
・広報など会員コミュニケーションのあり方  
・活動報告や情報共有

#### 【総会についての回答選択肢】

- A 通常開催に賛成
- B 節制しての開催なら賛成
- C 何ともいえない
- D 感染警戒で出席しない

(返信ハガキのオモテ面に○印を)

#### 新年にはHPにアクセスを

お寄せいただいた賀詞や近況メッセージは年明けに東京片貝会ホームページや会員向けLINEグループ「なじらね片貝」に掲載予定です。下記リンクからご覧ください。

ホームページはこちら  
(▼このQRコードから)



<https://tokyo-katakaikai.net>

# 総会を3年ぶり正式開催

令和4年6月26日 東京グリーンパレス

第63回東京片貝会総会が会員33名の参加のもと3年ぶりに本格的に開催されました。今回は感染防止の観点から片貝からのご来賓や伝統芸能保存会の皆様の招待は差し控えての開催としました。

藤塚伸雄事務局長の開会宣言に続き、会長の安達亮一がご挨拶を申し上げました。その中で、新型コロナウイルス感染の広がる中、本年の総会を開催すべきかどうか、開催するならどのような形でと議論を重ねた上で、懐かしい顔ぶれがそろい片貝弁で語り合っこの東京片貝会であるとの結論から本日の開催に至ったとの報告がありました。

続いて恒例の会計・会計監査・広報・母校への図書費贈呈の報告が行われました。また新理事のみつわ会の目黒栄が紹



介されました。

初めての試みとして、例年であればお招きしている地元の方々からのビデオメッセージが次の順で放映されました。片貝町協議会会長の太田幹雄様、片貝中学校校長の山本俊介様、片貝小学校校長の木曾隆一様(写真=な前号での開催案内のとおり感染予防策としてゆとりある座席配置にしました)。

その後前副会長の芝強様の今日の再会

を祝しての乾杯の音頭に引き続いて懇親会が行われました。例年の木遣りの合唱は出来ませんでしたが、最後に本年度古希を迎えるつどい会の相崎俊夫様の手締めにてお開きとなりました。

【会員出席者】(敬称略)  
(昭和21~39卒)

阿部修次(21)、大塚順一(22)、溝手俊一(26)、荒木ムツ、佐藤祐一(27)、黒崎 勝(28)、大塚國夫、藤塚 悟(31)、安達 弘(33)、芝文夫(35)、大矢とらじ、佐藤篤司、本田秀幸(37)、芝 強(38)

(昭和40~卒)

相崎 俊夫、太刀川 和雄(40)、安達 徹、阿部 清、山口光夫(41)、安達裕子、安達亮一、早川 芳枝(42)、内藤 富美子(43)、藤塚伸雄(48)、目黒 栄(49)、徳永隆浩(52)、徳永雅史(53)、堀井ひとみ(54)、佐藤 潤(55)、吉田貴裕(56)、友田 啓(58)、名塚孝雄(H1)、安達匠真(H21)

## 【東京片貝会へご寄付】(令和4年4~10月)

下記の方々から会へのご寄付を頂きました。厚く御礼申し上げます。(敬称略)  
太刀川三郎(15)、阿部修次(21)、長岡利夫(23)、松岡規子、荒木ムツ、石橋行夫(27)、安達 隆(28)、横田房枝(29)、安達弘之(30)、大塚國夫、藤塚 悟(31)、安達 弘(33)、山家恵美子、高波国男(35)、本田秀幸、吉原敏明、松井京子、佐藤篤司(37)、芝 強(38)、相崎俊夫(40)、阿部清、安達 徹(41)、安達亮一(42)、内藤富美子(43)、黒崎 修(45)、松井正之(46)、藤塚伸雄(48)、目黒 栄(49)、徳永雅史(53)、堀井ひとみ(54)、山口昌幸(55)、吉田 貴裕(56)、友田 啓(58)

LINE グループ

## 「なじらね片貝」

最新情報をスマホにお届けします



▲こちらのLINEアカウント(理事の友田啓(あきら)さん)まで氏名と「なじらね片貝参加希望」を添えて

## 理事有志による花火打ち揚げ

去る9月10日昼に本会理事有志で浅原神社秋季例大祭の奉納煙火を行いました。

本年は3年ぶりの開催とあり、片貝の皆さんにエールを送ろうと花火を奉納することにしました。来年以降も会を挙げてこのような取り組みを続けていきたい所存です。

来年春の総会の際などにも花火や祭りの様子、お話をさせていただければ幸いです。

(写真=お立ち台で木遣りを高らかに唄う有志一同)



## 「雪国で手塩にかけて作った”白い宝石”」

米どころ雪国おぢやでつくられた”魚沼産コシヒカリ”  
清らかな水と肥沃な土地で丹精込めて作った逸品です。  
おいしさど安心を追求した黄金色の稲穂から精米された”白い宝石たち”  
その炊きあがりの艶と風味の良さは魚沼産ブランドの名にふさわしい逸品です

詳細は

⇒ JA越後おぢや

### JA 越後おぢや

〒947-0031  
新潟県小千谷市土川1-12-25  
☎0258-83-3425

## 感動空間 新宿レフカダ

落語、漫才、コンサート  
楽しい事がここにある

芝 強(昭38年卒)  
新宿区新宿5-12-4  
☎03-5366-0775  
http://lefkada.jp/



### 精密機械部品加工 株式会社 浅田精機

〒947-0101  
新潟県小千谷市片貝町4481-4  
☎ 0258-84-2911  
FAX 0258-84-3855  
http://www.asadaseiki.jp

～第40回 母校を励ます会 教育講演会～

「ニュースを伝える『報道の仕事』とは」開催

芝 至氏 昭和63年卒 輝友会  
令和4年10月14日 片貝中学校にて

3年ぶり本会からも同席

東京片貝会主催の教育講演会が10月14日に開催されました。コロナ禍の下でも小中学校をはじめ地元の皆様のご尽力により欠かさず開催され第40回を迎える今年は東京片貝会からも3年ぶりに参加することができました。

50歳記念行事を迎える同級会で決めた卒業生が講師を例年務めており、今年はTeNY(テレビ新潟)で一貫してテレビ報道に携わってきた芝至さん(四之町出身)に講演いただきました。

講演骨子

世の中で起きたことを取材しニュースで伝える仕事に25年以上にわたり関わってきました。芝さん自身、新潟のスタジオから、県内の現場から、それにモスクワ特派員として、多くのレポートを視聴者に届けてきました。

報道では分かりやすい言葉で何が起きているのかをいち早く正確に伝えることが大切です。講演では現場中継のレポーター役を中3生徒に務めてもらいました(写真)。体験した生徒によれば原稿を読み上げて様子を伝えることの大事さ、難しさがわかったとのこと。

ニュースに視聴者のスマホ映像が使われるなど、時代とともに報道を取り巻く環境は変わっています。ネットの普及でさまざまな情報があふれる中、報道する側はもちろん、私たちも情報を見極める目が求められます。

このような仕事を振り返りつつ芝さんは児童生徒に対して「皆さんには大きな可能性がある」「将来やりたいことがわからなくてもあせらないで」「目の前のこと



にしっかり取り組めばやりたいことが見えてくるし夢はかなえられる」と励ましてくださいました。

【母校を励ます会基金ご協力者名】

(敬称略)(令和4年4～10月)

- 太刀川三郎(15)、岩片智恵子(16)、阿部修次(21)、友田善智(22)、石橋行夫、松岡規子、荒木ムツ、佐藤祐一(27)、黒崎勝、安達隆(28)、横田房枝(29)、安達弘之、本田十三雄(30)、小野塚清、大塚國夫、藤塚 悟(31)、諸我時夫(32)、安達 弘(33)、山家恵美子、高波国男(35)、本田秀幸、吉原敏明、大矢とらじ、寺町明美、松井京子、佐藤篤司(37)、芝 強(38)、谷内 弘(39)、相崎俊夫、太刀川和雄(40)、阿部 清(41)、山口光夫、安達 徹(41)、安達亮一、勝又一司(42)、内藤富美子(43)、松井正之(46)、藤塚伸雄(48)、徳永雅史(53)、堀井ひとみ(54)、佐藤 潤、山口昌幸(55)、友田 啓(58)、名塚孝雄(H1)、安達匠真(H21)

講演を終えて

芝 至さん

この度は、故郷の後輩の皆さんに講演する貴重な機会をいただきありがとうございました。テーマが「報道の仕事」ということで、興味をもってもらえるように話の内容を工夫したり、途中で中継リポートの体験を交えたりしながら話をさせていただきました。皆さん、メモをとりながら一生懸命に聞いてくれ、最後にはしっかりとポイントを押さえた感想を述べてくれました。頼もしく感じるとともに、何か1つでも心に残る話があったなら、講演者としてそれに勝る喜びはありません。

講演会には、町民の皆さま、輝友会の同級生からもたくさん足を運んでいただき、改めて故郷の温かさを感じました。今後も片貝町のために、輝友会として様々な場面で協力させていただければと思います。

最後になりましたが、諸般の状況を見ながら、講演会の開催にご尽力いただいた関係者の皆様へ感謝するとともに、皆様のさらなるご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

母校を励ます会へのご寄附を  
よろしくお祈りいたします。

**片貝総合センター完成**  
中越地震で避難所、本場で大活用

9月1日、小千谷市片貝総合センターが、屋敷田駅前には、片貝地区のコミュニティ活動の拠点としてオープンした。

玄関の両脇にツゲの木が「東京片貝会」の名称で植えられている。会員の皆様も知照の際は、お立ち寄り下さい。



18年前に東京片貝会が植えたツゲの木が今も立派に地域の皆さんを出迎えています。

📍  
会報第70号(2004年12月)より

**あ の と き**

**いま**



レーザー加工  
各種看板  
ステッカー  
デザイン  
etc  
**ONESKY**  
**オノツカ精工株式会社**  
企画室  
TEL 0258-84-4010  
小千谷市片貝町10380-1  
URL <http://www.onozoo.com>

— 食堂・会席 —  
**美好亭**  
小千谷市片貝町6505  
TEL 0258(84)2107  
FAX 0258(84)3334

かかりつけのでんき屋  
**eプラザ**  
片貝店  
小千谷市片貝町4508-15  
(0258) **84-4011**  
<http://denkinoadachi.com/>

人財の見える化で  
経営をサポートします  
**藤塚事務所**  
代表 **藤塚伸雄**  
T&F 045-211-5131  
詳しくは  
Webサイトにて



# ふるさと・は・今

令和4年6月より  
令和4年11月まで

## 母校近況

### ■小学校 須玉教頭先生

#### 【6/18 スポーツフェスティバル】

例年、5月中旬に実施するスポーツフェスティバルですが、新型コロナウイルス感染症による影響のため、1ヶ月遅れで開催することができました。「歴史に残る片貝魂 見せつけろ!!」のスローガンの下、全校児童が徒競走や上学年・下学年リレー、応援合戦に全力で取り組みました。更なる感染拡大の懸念もありましたが、5・6年生による「鼓笛隊演奏」も例年どおり披露することができました。今年度は、赤組が「競技」「応援」のダブル優勝をしました。



#### 【7/9 東校舎改修工事に伴う引越し作業】

東校舎の老朽化に伴う改修工事が始まりました。改修を進めるために、東校舎から北校舎への引越し作業をPTA親子ふれあい奉仕作業として行うことができました。初夏の暑さの中、東校舎を使用している現役の子どもたちと、自分たちが子どもの頃に使用していた保護者の皆さんと協力して荷物を運び出すことができました。最後には、思い出の校舎に親子でメッセージを書き込みました。



#### 【10/20 もみの木遠足】

1年生から6年生までの縦割りグループをつくって、越路の巴ヶ丘自然公園まで歩きました。公園内では、縦割り班毎に林の間を抜けオリエンテーリングの問題に挑戦したり、トンボが乱舞する芝生広場で思いっきり鬼ごっこをしたり、秋晴れの清々しい雰囲気を感じる存分味わうことができました。

### ■中学校 佐藤教頭先生

中学校体育連盟の中越地区大会(夏季)と中越吹奏楽コンクールが6・7月に開催されました。バスケットボール部と卓球部女子がベスト8に進出しましたが、どちらも順位決定戦で敗れ、県大会進出を逃しました。卓球部女子の吉井彩菜さんが、17位で県大会に出場しました。

本年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮しながら、9月17日に体育祭を開催しました。スローガンは「結束～高め合ったその先へ～」全校生徒が協調性を高め、今よりもレベルアップできるようにという意味が込められていました。各軍の団結を高める「結束タイム」を取り入れるなど工夫し、大成功を収めることができました。

秋の市内新人大会では、野球部が小千谷中との合同チームでの参加となりましたが、6連覇を達成しました。中越地区新人大会では、卓球部男子が団体戦5位、個人戦では、1年男子高橋慶さん5位、安達太紀さん・中澤ゆあんさんが17位で県新人大会へ進出しました。どの部も三年生の跡をしっかり引き継ぎ、新チームで頑張っています。

10月14日(金)には、東京片貝会教育講演会を開催していただき

ました。講師の芝至様からは、「ニュースを伝える『報道の仕事』とは」という演題でご講演いただきました。長年「報道の仕事」に携わってきたご経験をもとに、仕事の実際とともにその裏側にある「報道の仕事」に携わる方々の思いをお聞かせいただきました。誠にありがとうございました。

## 町のできごと

### ■3年ぶりの片貝まつり

片貝に元通りの元気さ、賑やかさが戻ってきた。3年ぶりの片貝まつりはコロナ禍前と同じく、9日の筒引き、10日の鼓笛隊パレード、片貝伝統芸能保存会による古式玉送りを大勢が見守った。



奉納煙火は、令和2年度還暦「福寿会」の“復活の煙火(のろし)”大スターメインに始まり、令和3年度還暦「みつわ会」、今年度還暦「恒友会」の3学年分の豪華スターメインをはじめ3年分の思いがこもった多くの花火が浅原の夜空を彩った。お囃子コンクールは「い組」がダブル優勝した。

## 会員訃報

吉井陽様(特別会員 享年92)  
ご冥福をお祈りします

## 編集後記

新型コロナウイルスの流行「第8波」が広がりつつあるため、恒例の新年会は延期となりましたが、皆さんお気をつけて、よいお年をお迎えください。

広報担当 徳永・小林・  
安達・相崎  
news@tokyo-kataikaikai.net



創刊 昭和38年  
年2回(6・12月)刊  
発行 東京片貝会

